

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症児デイサービスfuwaRi		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 5日		～ 2025年 12月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年 12月 19日		～ 2025年 12月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児ひとりに対し1人以上のスタッフを配置し支援を行っている。	保育士や児童指導員等と看護職員との連携を取りながら、利用児様の状況に合わせた支援を実施しています。複数の目で利用児の状況を確認し、その日の体調に合わせながら無理なく支援を受けることができるよう配慮しています。	日々保育士や児童指導員、機能訓練職員、看護職員間で情報共有し、支援内容だけではなく個々の体調に配慮した支援計画を提供できるよう対応を行っています。
2	安心・安全に過ごすことのできる環境づくり	小さな変化を見逃すことがないよう、複数名のスタッフで支援を行っています。またヒヤリハット事例が発生した際には速やかに報告を行い、対策を立てて対応しております。	特定のスタッフのみが関わるのではなく、様々なスタッフの目線で関わることで、様々な気づきができるよう工夫していきます。ヒヤリハット事例があった際にはスタッフで速やかに共有し対応策を検討周知していきます。
3	利用者やご家族の意向を尊重した支援の実施	ご家族の意向や本人の状態をふまえて個別にケアシートを作成し個々の状況に合わせた医療的ケア、安全に配慮し統一した医療的ケアを実施できるようにしています。また体調を見ながら無理なく活動を行えるよう取り組んでいます。集団活動については体調により小集団での活動へ変更するなど個々の状況に合わせた取り組みを行っています。	体調やタイミングに合わせて十分に活動に取り組みめるよう保育士・児童指導員だけではなく看護職員の療育への対応のスキルアップを行うことができるよう勉強会・研修会などを検討していきたいと思ひます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援を利用している人が少なく他の児童と関わる機会が持てていない	積極的に関わりたい機会を計画しておらず、スタッフそれぞれに実施したい思いがあっても、日々の支援計画のみとなり実施できずにいます。	他の児童発達支援施設との横のつながりを構築し、感染症の流行が少ない時期などに定期的に交流機会を持てるよう検討していきます。
2	定期的な父母会の開催ができていない	父母会は不定期には開催していますが、1日を通じて利用児がいることが多く、開催場所の確保が難しい日が多く機会を持てずにいることが要因と考えます。	開催する時間帯の工夫や、少人数での開催など検討し定期的な開催ができるようにしていきたいと思ひます。また年度末に家族交流会を企画しており、児童発達支援のみならず、他のご家族等と交流できる機会を計画しております。
3			